基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策１　函館への愛着や誇りを育む教育の推進 １　地域資源を活用した教育活動の推進 (1)豊かな地域資源を教材として活用し，函館のまちの良さを感じることができる教育活動を推進します。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 ■その他（　過疎地域持続的発展市町村計画　）

事業名	地域資源を活用した教育活動の推進	担当課	教育指導課

事業概要（目的等）	函館の歴史や文化，自然などを教材として活用し，函館のまちの良さを感じることのできる教育活動を推進する。
取組実績	【取組実績】 ・各学校において，校外学習や宿泊研修などを通し，函館の歴史や文化，自然などに直接触れる体験活動を行った。 ・小学校３，４年生において，デジタル化した社会科副読本「わたしたちの函館」を活用した。 ・小学校社会科副読本を活用した「縄文に触れる学習」についての指導計画に，縄文文化交流センター等への訪問を位置付け，市立全小学校３年生が，見学，体験を行った。 ・令和４年度は，新型コロナウイルス感染症回避のため，行き先を道南に限定した小学校６年生の修学旅行において，垣ノ島遺跡，大船遺跡，縄文文化交流センターの訪問を行う学校もあった。 ※函館市においては，将来のまちづくりを担う子どもたちが，函館の良さや課題などのまちの現状を見つめるとともに，函館の歴史や魅力，先人達の気概などを学ぶことができる「函館ＴＯＭ向上推進事業　まちを理解する小学生向けオリジナル映像」を平成30年度末に制作しており，小学校３，４年生の社会科授業の中で活用している。
成果と課題	【成果】 ・校外学習や宿泊研修などの体験活動やデジタル化した社会科副読本を活用した学習などを通して，函館の歴史や文化，自然などについて児童生徒の理解を深めることができた。 【課題】 ・各学校においては，十分な感染症対策を講じた上で，地域人材の効果的な活用等，人とのつながりから函館のまちのよさを実感できるような教育活動を，引き続き工夫・改善しながら推進していく必要がある。

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	校外における体験活動や，デジタル化した社会科副読本の活用のほか，平成30年度に函館市が作成したまちを理解する小学生向けオリジナル映像なども活用しながら，函館のまちの良さを感じることのできる教育活動の充実に取り組む。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策１　函館への愛着や誇りを育む教育の推進 １　地域資源を活用した教育活動の推進 (2)授業や課外活動などにおいて，芸術家，スポーツ選手，研究者などの様々な専門家から直接指導を受ける機会の充実を図ります。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	市立函館高等学校における「函館学」の充実	担当課	市立函館高等学校，教育指導課

事業概要（目的等）	学校設定科目「函館学」において，函館学基調講演会や函館学講座などで地域人材を活用するとともに，地域探究学習として地域施設や自然を活用して地域理解を深める。
取組実績	**【取組実績】** ・学校設定科目「函館学」において，「地域を学ぶ／地域で学ぶ」をモットーに地域で活躍する人材を活用して函館学基調講演会や函館学講座等を行った。 ・５年目を迎えた「地域探究学習」では，福祉・教育・子育て・地方行政・科学・生物など多岐にわたる63講座を開設し，生徒が校外へ出向き，函館地域で行われている講座に参加した。 **【過去５年間の推移】**地域人材を活用した講演等の実施状況　（単位：回）

区　分	H30	R1(H31)	R2	R3	R4
講演・講座数	60	60	60	63	80

※H30から科目を見直し，「函館学」に「地域探求学習」が加わり増加した。

成果と課題	**【成果】** ・「函館学」における函館学基調講演会や函館学講座等を通じて，生徒の地域への愛着が増した。 ・「地域探究学習」を通じて，生徒に地域の課題解決を自分ごととして捉えるなどの当事者意識が育まれた。 **【課題】** ・内容についての検証改善サイクルをさらに充実させ，探究的観点からより深い学びに結びつけていく必要がある。 ・地域探究学習において，さまざまな関係者と連絡調整を図るコーディネータ役の人材確保について，学校外に設定することも検討したい。

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	地域の学校として，地域のさまざまな人的資源を有効に活用し，地域に開かれた教育の充実を推進する。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策１　函館への愛着や誇りを育む教育の推進 ２　地域に貢献する教育活動の推進 (1)地域行事・ボランティア活動などを通じて社会に参画する態度を育む教育活動を推進します。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針 □その他（　　）
事業名	地域と関わる教育活動の充実　　担当課　教育指導課
事業概要（目的等）	地域行事・ボランティア活動などを通じて，社会に参画する態度を育む教育活動を推進する。
取組実績	【取組実績】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，地域行事・ボランティア活動などの場は制限されたが，各学校では安全や防災に関わる教育活動や総合的な学習の時間などにおいて，地域と関わる取組を推進した。 ・各学校において，地域清掃活動や町会と協力した防犯パトロールを行うなど，町会行事への参加などの活動を行った。
成果と課題	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で，地域の行事等が行われるなど，社会に参画する態度を育む教育活動が行われた。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じつつ，地域に貢献する行事や，豊かな体験活動の機会確保に努めていく必要がある。

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	コミュニティ・スクールの推進と関連付ける形で，地域の行事や児童生徒の体験的な活動の機会の確保が図られるよう，経営訪問や要請訪問等の機会を通じて指導・助言を行う。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策１　函館への愛着や誇りを育む教育の推進 ２　地域に貢献する教育活動の推進 (2)地域住民や企業などとの連携を図りながら，地域課題の解決に取り組む学習機会の充実を図ります。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	地域と連携した学習活動の充実	担当課	教育指導課
事業概要（目的等）	地域住民や企業などとの連携を図りながら，地域課題の解決に取り組む学習機会の充実を図ります。		
取組実績	【取組実績】 ・小学校３・４年生において，デジタル化した社会科副読本「わたしたちの函館」を活用し，地域学習を行った。 ・社会科の授業や総合的な学習の時間等において，地域課題の解決に取り組む地域学習を行った。 ・関係機関や地域と連携し，防災や生活安全，性犯罪・性暴力，がん教育等に関わる学習を実施した。		
成果と課題	【成果】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として，ＩＣＴの活用や外部講師による授業を実施するなど，関係機関や地域と連携した取組を工夫して実践したことにより，地域社会の課題やその解決方法などについて，効果的に学ぶことができた。 【課題】 ・各学校において，引き続き自校の課題に応じた学習活動や外部講師の活用を，計画的に取り組む必要がある。		

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	各学校の取組の活性化を図り，各学校や地域の実態に応じて，人的・物的資源を活用するなどの工夫・改善を進めていけるよう，学校訪問等の機会を通じて働きかける。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 １　豊かな国際感覚を育む教育活動の推進 (1)諸外国の生活や文化を理解・尊重し，国際的に協調して取り組む重要性について考える国際理解教育の充実を図ります。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）
事業名	国際理解教育の充実(高等学校)　　担当課：市立函館高等学校，教育指導課
事業概要(目的等)	多様な選択科目を設定し，英語，中国語，ハングル語およびロシア語の授業を通し，国際理解教育の充実を図る。

取組実績

【取組実績】
・英語以外の第２外国語を学びたい生徒への対応として，選択科目を設定した。
・中国語，ハングル語およびロシア語の授業では地域民間講師を招き，専門的な授業を行った。

【過去５年間の推移】第２外国語選択者数　　（単位：人）

区　分	H30	R1(H31)	R2	R3	R4
第２外国語選択者数	9	8	8	25	18

成果と課題

【成果】
・中国語，ハングル語およびロシア語の授業を開講し，英語以外の第２外国語を学びたい生徒の意欲に対応することができた。
・地域民間講師を招き，生徒に専門的な知識・技能を身に付けさせることができた。また，各言語の文化的な背景に触れ，生徒の国際的視野を広げる成果が得られた。

【課題】
・英語以外に３か国の外国語科目を設定していることは教育課程上大きな特色であり，これからの道南地域の観光産業発展を見据え，より多くの生徒が学ぶ機会が増えるような工夫が求められる。

評価

○

進　捗		成　果		課　題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

生徒に多様な学びの機会を提供するとともに，国際的な視野の重要性が増すなか，地域の有り様について課題意識を涵養させる取組を継続する。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 １　豊かな国際感覚を育む教育活動の推進 (2)外国語活動および外国語の授業などを通じて児童生徒が異文化を理解し，協調する態度やコミュニケーション能力を育む教育活動の充実を図ります。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	英語教育，外国語活動の充実	担当課	教育指導課
事業概要（目的等）	外国語教育に関する研修を通して，異文化を理解し，協調する態度やコミュニケーション能力を育む教育活動の充実を図る。		
取組実績	【取組実績】 ・コミュニケーション能力の向上に向け，８名体制によるＡＬＴ(外国語指導助手)および11名体制の外国語活動サポーターの派遣を行った。 ・専門家を招き，オンライン研修で外国語教育に関する授業公開，講義および研究協議を行った。 ・児童生徒がネイティブ・スピーカーと会話する機会を増やすため，複数のＡＬＴ等を活用した授業を複数の小学校で実施した。		
成果と課題	【成果】 ・複数のＡＬＴによる授業を実施した際に，ネイティブ・スピーカーと会話をする機会を増やすことができるなど，児童生徒の学びの充実につなげることができた。 ・研修等を通じて，外国語を用いたコミュニケーション能力の向上に向けた授業改善の必要性について，小・中学校の教員の理解を深めることができた。 【課題】 ・外国語を用いたコミュニケーション能力の向上に向けた授業改善の取組を充実させる必要がある。		

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	授業改善の取組の充実について検討するほか，公開授業等の研修会を通して，外国語を用いたコミュニケーション能力の向上に向けた取組を進める。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 １　豊かな国際感覚を育む教育活動の推進 (3)海外派遣事業，海外留学事業，国際交流活動など外国人との交流機会の充実を図ります。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	市立函館高等学校海外留学事業の推進	担当課	市立函館高等学校

事業概要（目的等）	21世紀のグローバル社会に対応できる人材育成を目的とし，市立函館高等学校の生徒を本市の姉妹都市等の高校へ派遣し，外国語による実践的コミュニケーション能力の育成などに向けた取組を推進する。
取組実績	【取組実績】 ・令和元年度は「市立函館高等学校海外留学事業」として，本校生徒10名がオーストラリアニューサウスウエールズ州の高校へ派遣され約３ヶ月間の海外留学を経験した。 ・令和２～４年度は，新型コロナウイルス感染症拡大のため，オーストラリアへの留学は中止としたが，その代替事業として，福島県にある民間の英語研修施設（ブリティッシュヒルズ）での研修を３泊４日の日程で実施した。 【過去５年間の推移】市立函館高等学校海外留学事業派遣生徒数（単位：人）

区　分	H30	R1(H31)	R2	R3	R4
派遣人数	10	10	8	10	10

※H29,30は高校生海外留学事業として他校5名,市函5名の派遣
※R2～R4は代替事業として英語研修施設（ブリティッシュヒルズ）への派遣

成果と課題	【成果】 ・海外留学事業に選考された生徒について，代替事業への参加により語学のスキルアップが図られた。 【課題】 ・１年生の生徒・保護者が安心して応募できるよう，丁寧な情報提供を推進する。

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	海外留学事業を実施し、外国語による実践的コミュニケーション能力の育成などに向けた取組を図り、かけがえのない機会を多くの生徒に体験させる環境の充実に務める。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 ２　キャリア教育の推進 (1)児童生徒が社会的・職業的自立に向けて望ましい職業観・勤労観などを身に付けるために，発達の段階に応じたキャリア教育を推進します。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	職場体験学習の推進	担当課	教育指導課

事業概要（目的等）	児童生徒の社会的・職業的自立に向けて，望ましい職業観・勤労観などを身に付けるために，児童生徒の発達の段階に応じて職場体験学習などの充実を図る。
取組実績	【取組実績】 ・各学校において，各教科，道徳，総合的な学習の時間，特別活動など学校の教育活動全体を通じて，社会的・職業的自立に必要な基礎となる能力・態度の育成を図った。 ・各学校においては，新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点を踏まえながら，職場の見学や体験，講師を招いて講演会を行うなど，内容を工夫し，充実を図った。 ・キャリア・パスポートの様式と児童生徒が自分の記録を高校生まで蓄積できるファイルを各学校に配付し，ファイルを活用した取組を進めることができた。
成果と課題	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，各校で実施方法を工夫し，職業観や勤労観を身に付けさせる教育活動を実施することができた。 ・キャリア・パスポートの活用により，児童生徒の発達の段階に応じた計画的・体系的な指導が実施することができた。 【課題】 ・引き続き，新型コロナウイルス感染症の基本的感染対策をふまえつつ，学校に外部講師を招いたり，オンラインを活用したりした講演会等の実施等を検討する必要がある。

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	教育課程全体を通じて，児童生徒が，学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら，社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を身に付けていくことができるよう，キャリアパスポートを活用するなどして，キャリア教育の充実を図る。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 ２　キャリア教育の推進 (1)児童生徒が社会的・職業的自立に向けて望ましい職業観・勤労観などを身に付けるために，発達の段階に応じたキャリア教育を推進します。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	進路指導の充実（高等学校）	担当課	市立函館高等学校，教育指導課

事業概要（目的等）	上級学校説明会，外部講師による講演会の実施，オープンキャンパスへの積極的な参加の奨励，長期休業中の講習の実施など，生徒のニーズに応じ，進路実現に向けた学習活動を推進する。また，本校の地域探究学習を通じ，地域の課題に対する当事者意識を涵養し，個々のキャリア形成に結びつけるよう働きかける。

取組実績

【取組実績】
・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，生徒・保護者を対象とした上級学校説明会は中止とした。
・各大学等のオンラインによる大学説明会を積極的に活用するよう指導した。
・道内外約15校の大学から講師を招聘し，出前講義を行った（オンラインを含む）。
・長期休業中および平日の放課後に進学講習を実施した。
・多様な入試に対応する体制として，小論文指導・面接指導は全教員で実施した。
・本校教員が北海道・東北地区の国公立大学が主催する説明会や情報交換会にオンラインで参加した。
・学校設定科目「函館学」で取り組んでいる「地域探究学習」を通じ，地域が抱える様々な課題を，自分の生き方と結びつけて考えるように促し，進路目標の絞り込みにつなげた。

【過去５年間の推移】国公立大学現役合格者数　　（単位：人）

区　分	H30	R1(H31)	R2	R3	R4
国公立大学合格者数	61	72	81	61	71

※R1(H31)までは，3年次生8クラス(定員320人)。R2からは，3年次生6クラス(定員240人)

成果と課題

【成果】
・多様な職業人や大学関係者と直接接することを通じ，学問研究のイメージを具現化させ，地域が抱える様々な課題を自分の生き方，キャリア形成へ結びつけて考えさせることができた。併せて，生徒本人や保護者との個別面談を繰り返す中，一人ひとりの進路希望に即した適切な情報提供をすることができた。

【課題】
・進学すること自体を目的としない進路指導の在り方について，キャリア教育の視点から常に見直すことが求められる。
・地域が抱える各種課題を，生徒それぞれの生き方に結びつけるように促し，将来地域を支える人材の育成につなげる必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	社会の変化に適応し，SOCIETY5.0において求められる資質・能力の育成をベースとしたキャリア教育の観点から，本校の進路指導の充実を推進する。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 ２　キャリア教育の推進 (2)様々な企業などと連携を図りながら，児童生徒の興味や適正に応じた，職場見学，職場体験活動，インターンシップなどの取組を推進します。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	[再掲]職場体験学習の推進	担当課	教育指導課
事業概要（目的等）	児童生徒の社会的・職業的自立に向けて，望ましい職業観・勤労観などを身に付けるために，児童生徒の発達の段階に応じて職場体験学習などの充実を図る。		
取組実績	【取組実績】 ・各学校においては，新型コロナウイルス感染症防止の観点をふまえ，職場の見学や体験，講師を招いて講演会を行うなど，内容を工夫し，充実を図った。 ・キャリア・パスポートの様式と児童生徒が自分の記録を高校生まで蓄積できるファイルを各学校に配付し，ファイルを活用した取組を進めることができた。		
成果と課題	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から，各校で実施方法を工夫し，職業観や勤労観を身に付けさせる教育活動を実施することができた。 ・キャリア・パスポートの活用により，児童生徒の発達の段階に応じた計画的・体系的な指導が実施することができた。 【課題】 ・引き続き，新型コロナウイルス感染症の基本的感染対策をふまえつつ，学校に外部講師を招いたり，オンラインを活用したりした講演会等の実施等を検討する必要がある。		

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	教育課程全体を通じて，児童生徒が，学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら，社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を身に付けていくことができるよう，キャリアパスポートを活用するなどして，キャリア教育の充実を図る。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 ３　科学技術への関心を高める教育活動の推進 (1)科学技術の基礎となる理科，算数・数学に対する関心を高めるため，観察，実験などの教育活動の充実を図ります。また，実生活との関連がある課題や科学的な体験などを取り入れた授業の充実を図ります。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	理科，算数・数学の授業の充実	担当課	教育指導課

事業概要（目的等）	算数・数学科に関する教員研修を実施し，数理的に考察し表現する能力や算数・数学の楽しさを生活や学習に活用しようとする態度を育む学習指導のポイントについて理解を深め，指導力の向上を図る。
取組実績	**【取組実績】** ・専門研修「算数・数学科教育」を実施した。 ・南北海道教育センターの研究員の「算数・数学科教育部会」において，小学校算数科の授業改善のあり方についての研究を行うとともに，専門研修「算数・数学科教育」の際に，研究内容の発表・研究協議等を行った。 ・学校教育指導（要請訪問）における指導・助言を行った（特設授業実施校は，算数科・数学科が22校，理科が７校。前年度と比較し，理科が５校増加した）。 **【過去５年間の推移】**要請訪問における算数・数学科，理科の特設授業の実施校数（単位：校）

区分	H30	R1(H31)	R2	R3	R4
算数・数学科	9	15	17	22	22
理科	3	0	2	2	7

成果と課題	**【成果】** ・専門研修や研究員の研究の発信・普及，さらには学校教育指導（要請訪問）の際の指導・助言等により，授業改善について教員の理解を深めることができた。 **【課題】** ・主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善が図られるよう，指導・助言の質を向上させる必要がある。

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	各学校において，「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善が効果的に進められるよう，専門研修の内容や研究員の研究内容，さらには指導主事による指導・助言の質の向上を図ることで，科学技術の基礎となる算数・数学，理科に対する児童生徒の関心を高めていく。

基本計画の体系	基本目標３　函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成 施策２　未来へ飛躍する力を育む教育の推進 ３　科学技術への関心を高める教育活動の推進 (2)科学技術への関心を高めるため，学術研究機関などと連携し，教育活動の充実を図ります。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	科学技術に関する教員研修等の推進	担当課	教育指導課
事業概要（目的等）	児童生徒の理数教育や科学技術への関心を高めるため，学術研究機関等と連携した取組を実施する。		
取組実績	【取組実績】 ＜ＩＣＴ活用・学習用端末について＞ ・学習用端末を活用した学習指導の充実を図るため，大学の教授や先行実施校の教員等を講師に招いた教員研修（遠隔型の研修）を，計２回実施した。 ・指導主事によるＩＣＴの活用に関する訪問研修を計２回実施した。 ＜プログラミング教育について＞ ・指導主事によるプログラミング教育の「訪問研修」を計２回実施した。		
成果と課題	【成果】 ・教員研修を実施することで，教職員の資質向上を図ることができた。 ・指導主事を講師としてプログラミング教育を行うことで，児童生徒の科学に関する関心を高めることができた。 【課題】 ・学習用端末を活用した指導が進められているが，さらなる研修機会の充実を図る必要がある。		

評価	○	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	教員研修の機会の充実を図るとともに，学術機関等と連携した教員研修の実施や実験を体験できるイベント等の開催を通じて，科学技術への関心を高める教育活動の充実につなげる。